



# 日本口腔ケア学会

Vol.8-No.1

発行：一般社団法人 日本口腔ケア学会事務局 〒464-0057 名古屋市千種区法王町2-5 G-10E Email: office@oralcare-jp.org FAX: 052(784)5202

## 口腔ケアによるさらなる社会貢献をめざして

理事長  
夏目 長門

日本口腔ケア研究会として平成4年4月に、わずか83名で発足した本学会も、本年9月30日現在、会員9,657名、準会員1,347名、合計11,004名となりました。これも会員・準会員の皆様の御指導、御助力によるもので心より御礼申し上げます。

本学会 副理事長 星 和人東京大学教授が発出された東京宣言において、「口腔ケア」は全身の健康維持や寿命の延命にも効果があり、生まれてくる子供の命や健康さえも守る、「医療のメインストリーム」と定義されました。

日本医学会総会は、明治35年4月に第1回が開催されてから、ほぼ4年に1回開催され、日本の医学界の代表機関である日本医学会が主催します。日本口腔ケア学会は第30回日本医学会総会の齋藤 英彦会頭、第31回日本医学会総会の春日 雅人会頭に本学会 名誉会長に御就任いただき同時期に学術大会を開催させていただいております。

本年度の学術大会では響働（きょうどう）宣言を春日 雅人 名誉会長と川又 均 大会長が発出されました。第32回日本医学会総会は2027年4月23・24・25日に澤 芳樹会頭（大阪大学名誉教授）のもとで開催されます。この度、大阪大学を卒業された本学会の森 悦秀（九州大学大学院 名誉教授）理事の御尽力で、澤会頭に2027年の本学会学術大会における名誉会長にご就任いただきましたことを謹んで会員諸兄にご報告させていただきます。

本学会が医学会において、その重要性が評価されたことは慶事であると考えます。

また本学会相談役である、垣添 忠生先生（日本対がん協会 会長、国立がん研究センター名誉総長）、相澤 孝夫先生（相澤病院理事長、日本病院会会長）の御指導を賜るかたちで歯科のない病院に口腔ケアセンターを設置する事業も開始しております。

外部資金による積極的な口腔ケアセンターの開設を目指すため、日本口腔ケア協議会（日本口腔ケア協会）を母体としてオーラルケアマネジメント（OCM）株式会社を令和4年12月に設立するとともに、令和5年4月には医療法人日本口腔ケア学会医療部門を設置しました。

口腔ケアセンターでご勤務いただける歯科医師・歯科衛生士の皆様は本学会事務局までご連絡下さい（<https://www.oralcare-jp.org/oralcarecenter/>）。

日本病院会では病院に勤務する医師に対して、各科の専門分野しか治療できないのではなく、病院で勤務する上で必要な技術と知識、そしてチームプレーも含めた総合的医師研修システム「日本病院会認定 病院総合医 育成事業」を制定されました。

日本口腔ケア学会は日本病院会に学び、「一般社団法人日本口腔ケア学会 病院総合歯科医師 研修プログラム」を準備しています。歯科専門医として高い専門技術を有するだけでなく、将来、病院で勤務するチームの一員として働くことを希望する若手歯科医師のために、補綴・保存・口腔外科といったの専門診療科の研修だけでなく、各種疾患の支持療法である口腔ケアはもとより、全身の治療のなかの口腔領域を担当する上で最低限必要な事項を総合的に研修するため、九州大学 和田尚久教授に委員長をお願いし、準備を進めて頂いております。すでに日本病院会 相澤 孝夫 会長に研修プログラムを提出してアドバイスを頂き修正を行っており、令和6（2024）年度より実施を目指しております。

ぜひ、会員の皆様の施設の歯科医師の研修に加えて頂きたいと思っております。この研修を修了した若手歯科医師は、日本病院会に氏名を提出し、将来、全国の病院に勤務していただければと願っております。

令和6年4月27・28日には、大会テーマ「地域にマッチした口腔ケアの普及のために」、片倉 朗大会長（東京歯科大学口腔病態外科学講座 教授）、松浦 信幸 実行委員長（東京歯科大学 オーラルメディスン・病院歯科学講座 教授）のもとで、第21回日本口腔ケア学会総会・学術大会 第4回国際口腔ケア学会総会・学術大会を開催します。本学会の多数の皆様にご参加頂けるよう願っております。会場でお会いできることを楽しみにしております。